

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公開番号】特開 2005-65778 (P2005-65778A)

【公開日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【年通号数】公開・登録公報 2005-011

【出願番号】特願 2003-296646 (P2003-296646)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

絵柄を表示する絵柄表示装置と、

遊技領域中の特定箇所への入球を検出する入球検出手段と、

前記入球検出手段の検出に基づいて、前記絵柄の変動表示を開始させ、予め設定された変動時間の経過後に前記変動表示を終了させるように前記絵柄表示装置を表示制御する表示制御手段と

を備えた遊技機において、

前記特定箇所への入球可能性が相対的に低い第 1 状態と高い第 2 状態とに切り換える切換手段と、

前記切換手段により第 1 状態から第 2 状態と切り換えられたこと、又は第 1 状態から第 2 状態に切り換える条件が整ったことを判断する判断手段と、

前記判断手段により第 2 状態に切り換えられたと判断され又は第 2 状態に切り換えられる条件が整ったと判断されると、その判断結果に基づいて又はその判断結果と他の条件成立との組合せ結果に基づいて、前記変動時間経過前に前記変動表示を終了させる終了時期変更手段と

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記入球検出手段の検出に基づいて、通常遊技よりも遊技者に有利な特別遊技の抽選を実行する特別遊技抽選手段を備え、該特別遊技抽選手段の抽選の結果が当選の場合には特別遊技を発生させるように構成したことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技領域には作動口を設け、前記入球検出手段はその作動口への入球を検出するものであり、前記切換手段は、遊技領域を落下する遊技球を作動口へ導く球流路パターン数を増大させ、又は当該球流路の幅を拡大させることにより、前記第 2 状態に切り換えるものであることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記切換手段を第 1 状態から第 2 状態に切り換えるか否かの抽選を行う切換抽選手段を備え、その抽選結果に基づいて前記第 1 状態から第 2 状態に切り換える条件が整ったと判断

されるものであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記入球検出手段によって入球検出されたときに先の入球検出に基づく絵柄変動が終了していない場合には前記入球検出に基づく絵柄変動を一旦留保する留保手段を備え、該留保手段による留保があること又は留保数が留保限界数よりも少ない一定数以上であることを前記他の条件に含めたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 6】

前記切換手段が第 2 状態となる実質的期間が相対的に長い第 1 モードと短い第 2 モードとのいずれかを選択するモード選択手段を備え、該モード選択手段により第 2 モードが選択されていることを前記他の条件として設定したことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 7】

遊技を統括管理するメイン制御手段と、メイン制御手段の配下で前記絵柄表示装置を表示制御するサブ制御手段とを備え、

メイン制御手段は前記判断手段を含み、

前記表示制御手段は、入球検出手段の検出に基づいて少なくとも絵柄の変動開始及び予め設定された変動時間を指令するメイン制御手段の機能と、変動開始指令に基づいて絵柄表示装置に絵柄の変動表示を開始させるとともに変動時間指令に基づいてその変動時間経過後に絵柄の変動表示を終了させるサブ制御手段の機能とから構成され、

前記終了変更制御手段は、終了時期変更指令を行うメイン制御手段の機能と、終了時期変更指令を受けて絵柄の変動表示を当該終了時期変更指令に従った時期に終了するように表示制御するサブ制御手段の機能とから構成されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の遊技機。